

3 活動状況

3.1 新世代ネットワーク研究開発戦略本部

本部長 宮原秀夫 ほか 34 名

概要

新世代ネットワーク研究開発戦略本部は、新世代ネットワークに関する研究開発を戦略的に推進するため、理事長を本部長とし平成 19 年 10 月 1 日に部門横断的な組織として発足した。新世代ネットワーク研究開発戦略本部の任務は、新世代ネットワークに関する中長期的な研究開発戦略を策定し、戦略に基づく研究開発推進体制の検討等を行うとともに、各研究センターにある新世代ネットワーク分野における萌芽的研究を積極的に推進することである。

新世代ネットワークは、次世代ネットワーク（NGN）の更にその先を見据えた新しい設計思想に基づくネットワークであり、インターネットの改良やその延長だけでは困難な既存ネットワークの課題・限界を、既存技術にとらわれずに白紙（clean slate）から新しくデザインしていくことにより、抜本的に解決することを目指している。欧米でも同様の取り組みが活発化しており、NICT は、All Japan 体制での新世代ネットワーク研究開発に関するビジョンの策定、技術戦略及び研究開発推進戦略の策定を行っている。なお、新世代ネットワークの研究開発は、総合科学技術会議の「平成 20 年度概算要求における科学技術関係施策の優先度判定」において情報通信分野では唯一の最高評価（"S" 評価）を得た。

平成 21 年度の成果

中長期的に新世代ネットワーク研究開発を進めていく上で必要となる、新世代ネットワーク技術戦略の策定を行った（図 1）。ここでは我が国の技術の強み弱みや既存 IP との違いを分析し、次年度以降に特に注力して研究を進める技術課題を抽出した。また、部門横断的な研究開発の推進方策として、プロジェクト型研究推進の検討を行った。この検討結果を踏まえて、平成 22 年度からは新世代ネットワーク戦略プロジェクトを開始することとなった。

また、EU と共催で日欧新世代ネットワークシンポジウム、米国 NSF（国立科学財団）との共催で新世代ネットワークワークショップを企画開催し、国際共同研究を推進した（図 2、図 3）。ITU-T においては、SG-13 および FG-FN にて標準化活動に貢献した。国内の産学官連携組織である、新世代ネットワーク推進フォーラムの運営に総務省と共同で事務局として貢献した。

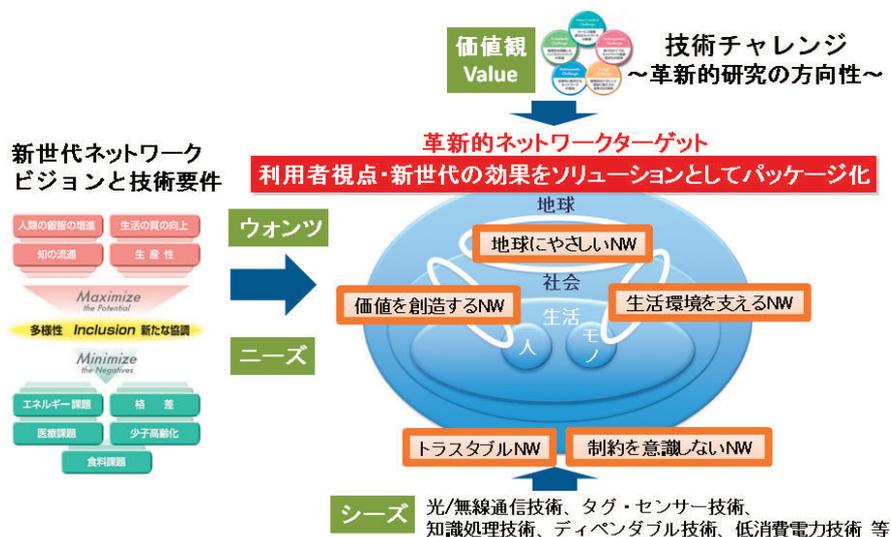


図 1 新世代ネットワーク技術戦略最終版を平成 21 年 7 月に策定



図2 第2回日欧新世代ネットワーク共催シンポジウム
(平成21年10月13・14日、東京九段下、参加者212名)



図3 第2回日米新世代ネットワークワークショップでの議論の様子
(平成21年12月4・5日、米国ハワイ、参加者56名)